

令和7年度千曲川河川事務所工事安全対策協議会総会を開催 ～官・民一体で、建設労働災害をなくそう～

千曲川河川事務所工事安全対策協議会(以下、「協議会」という。)は、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所の工事施工に当たり、建設労働災害の防止に関する総合的な計画のもとに、工事の安全施工、建設労働者の安全衛生の確保及び第三者に対する安全を確保し、工事の円滑な遂行に寄与することを目的として千曲川河川事務所と千曲川河川事務所が発注する工事等の受注者で構成された組織です。

この協議会における令和7年度総会が7月18日に長野市内において開催され、工事関係者及び協議会役員等124名が一堂に会し、労働災害の撲滅のため令和7年度における取組み等を確認しました。

【総会の概要】

浅見会長(千曲川河川事務所所長)の挨拶の後、規約の改正の承認、令和6年度に千曲川河川事務所管内で延べ129現場、865名で行われた地区及び役員の安全パトロール結果などの令和6年度活動報告、今年度の協議会運営に向けてた令和7年度活動計画の確認がなされました。



会長挨拶

○最近の工事事故発生状況等について

次に、令和6年度の北陸地方整備局管内の工事事故発生状況などの報告が行われました。暑さが本格化する時期を受け、建設工事における熱中症対策の重要性を再度認識するため、令和7年6月1日に改正労働衛生規則が施行され、熱中症対策の強化について取り組んでいくことを確認しました。また、北陸地方整備局における発注者綱紀保へのご協力をお願いをおこないました。



鹿熊副会長の閉会挨拶

最後に鹿熊副会長(株式会社鹿熊組代表取締役社長)の閉会の挨拶で、今後の無事を祈念し、本大会を締めくくりました。